

東京土建が運営
東京建築カレッジ

- 家づくりの後継者
- スペシャリスト養成
- 毎週金・土 2年制

☎ 03-5950-1771

けんせつ
たま西部

発行所

東京土建一般労働組合
多摩西部支部
昭島市中神町2-4-19
電話 042-546-1577 (代)
発行責任者 菅野 明

狹江市古代カップいかにだレース 結果発表

最優秀企画賞

(読売新聞社賞)

受賞おめでとう

多摩西部支部青年部がレースに参加

流された他チームのいかにだ救助の大活躍

新潟から来たチームがスタート前に流されてしまうアクシデント発生。ためらうことなく川に飛び込み助けに向かったのは青年部の佐藤君と内海君。その姿に見物人から拍手をいただくシーンもありました。競技中は東京土建多摩西部支部のノボリ旗をいかにだに装備して組合の宣伝に貢献しました。



君も青年部に

青年部は様々な企画をしています。学習会や仲間の交流会などを、自分たちで考えて取り組みます。

30歳未満の方は是非、青年部に加入して一緒に楽しみましょう！



配布、携行の利便性を考えて、これまでのブランケット判(ほぼB4サイズ)から今回からA4サイズ新聞を試験導入しました。例えば、この新聞の大きさA4であれば210×297ミリですが、B4だと257×364ミリの大きさとなります。これまでのものより二回りほど小さい感じですね。ちなみに、それぞれの大きさが倍になるとアルファベットの後ろの数字が小さくなりますので、この新聞を開いたサイズがA3ということになります。

ところで、これまでよく使われていたBというサイズですが国際規格のAとは違い、ほとんど日本・中国

・台湾でしか使われていなかったそうです。このため他のチラシなども海外で一般的なA規格に段々と統一されるようになり『それなら新聞の大きさも合わせましょう』ということになったわけです。今後、分会で資料を配布するときには、この新聞にはさみこんだりして活用していただければと思います。また、他の印刷物と同じサイズに小さくなりましたから、仕事の車に置いて、ちょっと時間が空いた時にでも目を通していただければと思います。今回のサイズ変更に伴い縦書きから横書きに、また文字の大きさも若干小さくなりましたが、前記の件ご承知の上、ご容赦ください。

第37回

住宅デー

来場者 **230** 人
 まな板削り **48** 枚 包丁研ぎ **473** 本
 住宅相談 **8** 件 (家具転倒防止金具の取り付け含む)

6月8日(日)を中心に開催された第37回住宅デーは、あいにくの空模様のため富士見分会の会場が中止となったほか、玉川分会でも恒例の玉川さくら太鼓を断念することになりました。来場者数では昨年753人の3分の1以下の230人にとどまり、住宅相談件数も8件に減少(昨年23件)するなど雨の影響がでました。その様な状況のなかで立川南分会の会場ではバーベキューを行い、雨の中でも仲間同士が楽しみながら参加して交流することができた工夫をしていました。また、玉川分会の会場では来場者から開催を感謝するお声掛けをいただく場面に遭遇して、とてもうれしく思いました。



▲写真上、玉川分会では目玉の太鼓演技が雨のため中止となりましたが、来場者から開催を感謝する声が聞かれました。
 ▲写真左、立川南分会では豪快にステーキ。たくさんの仲間が会場に集まりました。

夏の拡大は支部目標☆達成 秋に向け全分会目標達成をめざそう!

2014年(夏は6月~8月)
 支部期間目標
 (年間1.5%)

50

7月25日現在



分会名	目標	成果
砂川	3	★11
けやき	4	2
高松	4	★5
国立	3	★3
立南	2	1
富士見	4	1
昭島中央	3	1
玉川	2	★3
朝日	3	1
拝島東1	4	1
拝島	4	3
事業所	9	★38
直属	5	★10
合計	50	★80

組合の仲間を増やす拡大運動にご協力ありがとうございます。6月~8月の夏の拡大では8月の行動日を待たずに成果累計80人で支部目標を達成することができました。しかし、9月~10月は秋の拡大月間が待っています。

分会の年間目標達成に向けて、8月の拡大統一行動日には分会行動センターに集まりましょう。センターについては所属の分会役員さんに確認してください。

分会行動センターに集まることができない方でも、加入対象者情報を支部に寄せていただくなど、是非、組合の仲間を増やす拡大運動と一緒に参加して3500人支部を目指しましょう。

夏の拡大統一行動日

8月 19日(火), 20日(水)

※行動日はセンターに集まりましょう。

平和の願いをこめて

国民平和大行進2014

「核兵器のない平和で公正な世界を」を合言葉に全国各地から出発して広島市の平和公園などを目指してリレーする国民平和大行進が行われ、7月19日(土)福生~立川コースと7月20日(日)立川~国立コースに東京土建多摩西部支部の仲間も参加しました。今回の行進では平和を訴えた多摩西部支部作成のウチワが配られ、沿道アピールに活用されました。一方19日には、この平和を望む声を無視するかのように行進コースの横田基地にオスプレイが飛来するという残念な出来事があり、別会場では300人が集まり反対集会も行われました。唯一の被爆国として、平和によって世界に貢献することを訴えます。



福生~国立間で多摩西部支部も参加



秋の住宅デー

と き 11月16日(日)

ところ 立川駅北口サンサンロード

無料の子供工作教室を中心に取り組みます

シニア友の会は元気に日帰りバス旅行へ

2014年7月13日(日)東京土建多摩西部支部『シニア友の会』は水上温泉へ日帰りバス旅行に行ってきました。

五十年に一度と言う様な強大な八号台風が襲来するとの報せで心配だったが、皆さんの思いが通じたのか曇天中、前日迄の蒸し暑さも無く、絶好の日和に恵まれました。上毛三山の雄姿は梅雨空の雲に隠れて観えなかったが、利根川の源流山紫水明な群馬水上の源湯松乃井に順調に到着。昼食料理の旨かったことと源湯の肌ざわりの良さに親しみ、帰路は硝子工場の技師の腕に感心・酒蔵の美酒に喉を鳴らした。

(国立分会 古田好二)



毎年恒例のシニア友の会のバス旅行。今回は水上温泉へ行ってきました

手打ちそば 若松

J R青梅線昭島駅南口ロータリー向いすぐ

- 自分だけの空間を楽しむ
- 蕎麦打ちには独特のこだわりを持つ店主

J R 青梅線昭島駅の南口からロータリーのちょうど反対側の路地を入ると、営業中の看板が目に入る。暖簾をくぐろうとすると、こじんまりとした庭がその手を緩める。店に入ると、いつものように「いらっしゃいませ」の声と美味しいお茶で出迎えてくれる。手打ちそば『若松』は約130年続く老舗だ。

いつからだろうか、この店に通うようになったのは。ビールを飲みながら、仕事の緊張感を解き、ひと息ついたら蕎麦をすすする。自分だけの空間でこのひとときを楽しむのも日課のひとつ。屋号については前々から気になっていたのはいたのだが、ついにそれを聞くチャンスが訪れた。現在のご主人、星野充康さんは四代目とのこと。初代は現在の新宿区若松町に店を構え、それが店名の由来。昭和20年に昭島へ。今年2月には交通量が増えた駅前



店主の星野さん（中央）
この写真をヒントにお店を探そう

昭島温泉 国立温泉
天然温泉が楽しめる湯楽の里
タオルセット無料レンタル券配布中



天然温泉が楽しめる湯楽の里
(昭島と国立)のタオル無料レンタル券のついたチラシを組合員に配布中です

小学生を対象に絵画作品を募集！

東京土建

子ども作品展

テーマは「家族」

主催：東京土建一般労働組合東京文化部

応募資格
組合員のご家族
(小学生のお子さん)

大きさ
八切り (271 × 391mm)
までのもの

応募〆切
2014年10月31日迄
支部事務所必着

応募作品は、2014年12月中旬まで
けんせつプラザ東京で展示します。

通りに面した場所から現在の場所に移転した。

ご主人の経験則により蕎麦打ちにはこだわりがあり、その日の湿度で水の量を調整する。使われるのは昭島の「美味しい水」だ。昭島市は都内で唯一、地下水100%の水道で市内20箇所の深井戸から汲み上げて供給されている。昭和記念公園の水道も昭島市から供給されており、公園開設当時は水不足も心配され、東京都水道局からの営業活動も頻繁だったらしい。しかし、美味しい地下水を愛する市民たちの節水活動と昭島市水道部の努力により、未だに地下水だけで市内全域に供給されている。そんな美味しい水で作られた、その名も『奥多摩』(800円)は蕎麦が3つの小鉢に入りそれぞれの味を楽しめる。

取材をしていると常連客の自称モンティさんが「ここに来たら、そば湯割り(そば焼酎420円)を頼まなくちゃ」と声をかけてくれた。お店の魅力を訪ねると「チェーン店にはない人の温かさ、安心感があって、隠れ家的な雰囲気が良い」とのこと。親子三代で来てくれる方や地方に引っ越してしまっても近くに來たからと来店がある。「特別なことはしていません。父のやっていたことを忠実に守っているだけです。続けることがアイデンティティだと思っています。ノスタルジックはお客さんの中にあるのだから」とご主人は語る。店内には若松寄席があるのも特徴的で、講談や落語が催される。

そんな話を聞きながら、いつものように天ざるを注文。最後に「明日も、健康で仕事が出来ますように」と、そば湯で締めくくった。

《メニュー》	ビール中	580円
	ざる	650円
	天ざる	1100円
	かつ丼	800円
	天丼	1100円
《営業時間》	11時～15時、17時～20時	
《定休日》	金曜日	
《所在地》	昭島市昭和町5-11-17	
《電話》	042-545-1259	



店内に若松寄席があり、落語や講談が催される

支部・分会の活動と一緒に参加しましょう



高松分会は富士サファリパークへ。富士山を背景にみんなで記念写真を撮影しました

高松分会は5月25日(日)に大人35人、子供15人の合計50人で富士サファリパークへ日帰り旅行に行ってきました。

午前7時30分に立川を出発。松岡分会長の春の拡大月間で超過達成できたことへのお礼のあいさつを聞きながら一路目的地へ向かいました。車窓から見る山々は緑一色で残雪をかぶった富士山を見ながら目的地に到着。

富士サファリパークではバスに乗ったまま園内へ入ります。熊・ライオン・虎・チーターなどエリアが変わるたびに子供たちは大はしゃぎして喜んでいました。その後、沼津で海産物を買ってから御殿場に向かい、すこし遅い昼食を楽しみ帰路に。午後6時、無事に立川に着きました。(高松分会 藤代進也)

建築士の方 応急危険度判定員講習を受けよう (東京都都市整備局主催・無料)

建築物の倒壊に伴う二次災害を防止するため、地震発生後出来るだけ早く、かつ短時間で建築物の被災状況を調査し、その建築物の当面の使用の可否を判定するものです。

と き 2014.10月14日(火)
と ころ たましん RISURU ホール
応募資格 建築士(1・2級、木造)で都内在住在勤



※申込みとお問い合わせは多摩西部支部まで

たませいふ 主婦の会のとりくみ・・・

主婦の会主催

平和をかたりつごう

7月30日(水) 支部会館にて開催



参加した子供たちから「戦争はいやだ!」と率直な感想も



戦争体験を語ってくれた片山さんを中心に記念撮影

主婦の会では『子どもたちを再び戦場へ送らないために』という思いから、今の時代あまり語られない戦争の悲惨さやむごさなどを子どもたちに伝えようと企画しました。日野市被爆者の会の会長、片山昇さんに講演を依頼し、近隣の小学生やおとなを含む28人が参加しました。

小学校や大学などで数々の講演を行っている片山さんは「原子爆弾が落とされたあと、皮膚がそげ落ちた人や、死体であふれた川をみてきた。頭が無くすでに死んでいる子どもを抱き放心状態の母親など、地獄絵としか言いようがない光景に一瞬にして変わった」と語りました。そして『被爆者』として生きている限り証言を続けていきたいという話を聞いた参加者からは「わたしも子どもを戦場に送らないためにがんばります」と感想をいただきました。また、参加した子どもたちからでた『戦争はいやだ!』と、率直な感想に胸を打たれました。最後にお手製の素麺と天ぷらで参加者と交流し閉会としました。

これからの未来を担う子どもたちに、また、戦争を体験した先輩方に、恥ずかしくない日本を見せてあげるため、ひとりひとりが思いをひとつにしていきたいですね。

主婦の会9条の会駅頭宣伝(^^)/
9/ 6(土)15~16時
立川駅北口で行います。
会員の皆様は奮ってご参加ください(#^.^#)